

III. 道路関係事業のポイント

1. 東海・東南海・南海地震にも強い緊急輸送道路ネットワークを概成！

- ・「緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム」の最終年度。管内約1,000橋の耐震化を概ね完了し、被災時の円滑な救急・救助活動、緊急物資の輸送を担保。
- ・被災後に社会・経済活動が速やかに正常化するよう、企業等の道路利用者に対する緊急時道路情報の提供システムを含め、より対象を拡大した道路橋の耐震補強計画を検討。

2. 「平成18年7月豪雨」等を踏まえ異常気象に対する防災対策を強化！

- ・斜面等の現状を広域的に把握するための道路防災点検を夏までに管内で全面実施し、当該点検結果に基づき適切な対策を推進。
- ・「平成18年7月豪雨」により被災した一般国道19号桜沢地区（長野県塩尻市）において防災改良事業に新規着手。

3. 中部のモノづくりの競争力を高める物流ネットワークを整備！

- ・国際物流基幹ネットワークを構成する名古屋圏環状道路（東海環状自動車道、名古屋環状Ⅱ号線）の整備推進。スーパー中枢港湾名古屋港への物流交通で交通混雑の激しい一般国道302号桜木大橋北交差点の渋滞対策に港湾管理者等と連携して着手。
- ・環伊勢湾地域の諸都市と港湾・空港を連絡する一般国道23号名豊道路及び中勢道路の未事業化区間において事業着手。早期の全線供用に向け全面的に事業を展開。
- ・一般国道365号員弁バイパス（四日市港アクセスルート）及び一般国道473号金谷相良道路（御前崎港アクセスルート）の平成19年度全線開通により、当該区間の国際コンテナ通行支障区間を解消。

4. 平成19年度開通予定区間は例年の2倍の約64km！

・主な開通予定箇所

中部縦貫自動車道(高山清見道路)、伊豆縦貫自動車道(天城北道路)、
三遠南信自動車道(飯橋道路)、一般国道42号熊野尾鷲道路、
一般国道1号静岡バイパス・浜松バイパス(新天拡幅)、一般国道153号足助バイパス
等

5. 効果の高い事業に重点投資、早期の効果発現を促す短期施策を積極展開！

- ・一般国道1号等の主要な道路を対象に、渋滞や事故等の課題解決のために実施すべき事業・施策について、わかりやすく公表。
- ・効果の高い事業を選択し、供用目標を定めて重点的に投資・進捗管理するとともに、地域の課題に迅速に対応するべく早期に効果発現する短期施策を積極的に実施。
- ・一般国道19号恵中拡幅区間では、拡幅事業と並行して主要渋滞ポイント（雀子ヶ根交差点）の渋滞緩和に向けた短期対策に着手。

2. 平成19年度 道路関係直轄事業費一覧表

(単位：百万円)

項 目	平成19年度 事業費 (A)	平成18年度事業費		伸 率 (A)/(B)
		当初事業費 (B)	保留解除等後	
道路整備関係	178,689	183,467	198,982	0.97
交通円滑化推進事業費	77,609	69,869	79,868	1.11
地域連携推進事業費	74,380	86,944	89,074	0.86
直轄道路維持修繕費	25,516	25,445	28,240	1.00
雪寒地域道路事業費	1,184	1,209	1,800	0.98
道路環境整備関係	69,591	62,275	67,175	1.12
交通連携推進事業費	2,830	2,934	4,634	0.96
交通安全施設等整備事業費	9,517	10,391	10,431	0.92
交通事故重点対策事業費	14,629	13,696	15,856	1.07
沿道環境改善事業費	37,145	29,170	30,170	1.27
電線共同溝整備事業費	5,470	6,084	6,084	0.90
事業費計	248,280	245,742	266,157	1.01
道路調査費	882	955	1,710	0.92
直轄道路等災害復旧費	—	—	—	—
附帯及び受託工事費	6,763	14,804	14,804	0.46
道路関係事業費計	255,925	261,501	282,671	0.98

注1) 道路関係直轄事業費一覧表には、街路交通調査費を含みません。

注2) 保留解除等後には、H18当初＋保留解除等（調整費・推進費・保留解除・補正）の事業費です。

3. 平成19年度 道路関係補助事業費一覧表

(単位：百万円)

区 分	岐阜県		静岡県		愛知県		三重県		合 計	
	H19当初	H18当初	H19当初	H18当初	H19当初	H18当初	H19当初	H18当初	H19当初	H18当初
交通円滑化事業費補助	955	870	4,769	8,309	3,504	3,863	1,578	1,830	10,806	14,872
地域連携推進事業費補助	8,989	10,612	6,509	6,830	5,183	6,218	6,459	6,734	27,140	30,394
雪寒地域道路事業費補助	313	261	—	—	—	—	—	—	313	261
交通連携推進事業費補助	880	810	2,732	935	4,364	3,672	1,390	1,040	9,366	6,457
沿道環境改善事業費補助	325	400	1,409	187	4,088	3,902	—	—	5,822	4,489
交通安全施設等整備事業費補助	1,617	1,556	4,550	4,163	5,261	5,334	1,114	1,257	12,542	12,310
電線共同溝整備事業費補助	40	150	295	280	799	530	—	—	1,134	960
地方道路整備臨時交付金	13,962	15,447	21,492	23,286	19,473	19,996	9,318	10,747	64,245	69,476
道路事業資金収益回収特別貸付金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域再生基盤強化交付金 （道整備交付金）	958	955	1,503	1,532	2,966	3,080	617	945	6,044	6,512
合 計	28,039	31,061	43,259	45,522	45,638	46,595	20,476	22,553	137,412	145,731

注1) 道路関係補助一覧表には、交通調査費補助、河川等関連公共施設整備促進事業費補助、後進地域特例法適用団体等補助率差額、市街地環境改善促進事業費補助、住宅市街地総合整備促進事業費補助、都市再生推進事業費補助の道路整備特別会計分は含みません。

注2) 道整備交付金の事業費については、市町村道事業を対象としている。

注3) 名古屋市分は愛知県に含んでいます。

注4) 静岡市、浜松市分は静岡県に含んでいます。

新規事業箇所（直轄事業）

めいほう 名豊道路 一般国道23号 蒲郡バイパス 31.5億円
(事業費は既着手区間を含む)

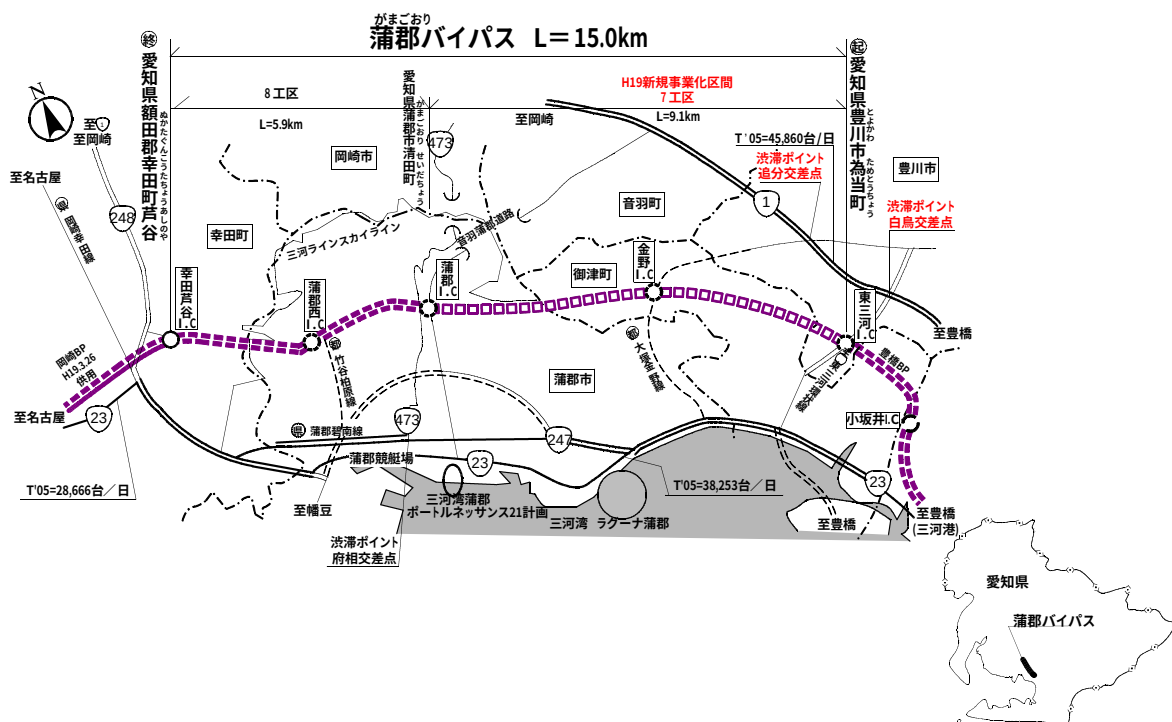
1. 事業箇所

あいち とよかわ ためとうちょう あいち ぬかた こうたちょうあしのや
愛知県豊川市為当町～愛知県額田郡幸田町芦谷

2. 事業概要

一般国道23号蒲郡バイパスは、地域高規格道路「名豊道路」の一部を構成し、一般国道1号の交通混雑の緩和、蒲郡市街部の交通安全の確保等を目的に計画された延長15.0kmの幹線道路です。

平成9年度より蒲郡市清田町（蒲郡IC）から額田郡幸田町芦谷（幸田芦谷IC）間（延長5.9km）を事業着手しています。平成19年度より豊川市為当町（東三河IC）から蒲郡市清田町（蒲郡IC）間（7工区：延長9.1km）を新規に事業着手します。



3. 平成19年度事業内容

名豊道路唯一の未事業化区間である蒲郡バイパス（7工区）を新規事業化し、名豊道路全線の早期供用に向け整備を推進します。また、蒲郡ICから幸田芦谷IC間の整備を推進します。

4. 整備効果

蒲郡バイパス（7工区）を整備することにより、現道1号の主要渋滞ポイントである白鳥交差点・追分交差点（最大渋滞長約3km）の交通渋滞の緩和を図るとともに、三河港に直結する東西幹線道路網を形成し、物流効率化を図ります。

新規事業箇所（直轄事業）

一般国道23号 中勢道路 67.0億円 (事業費は既着手区間を含む)

1. 事業箇所

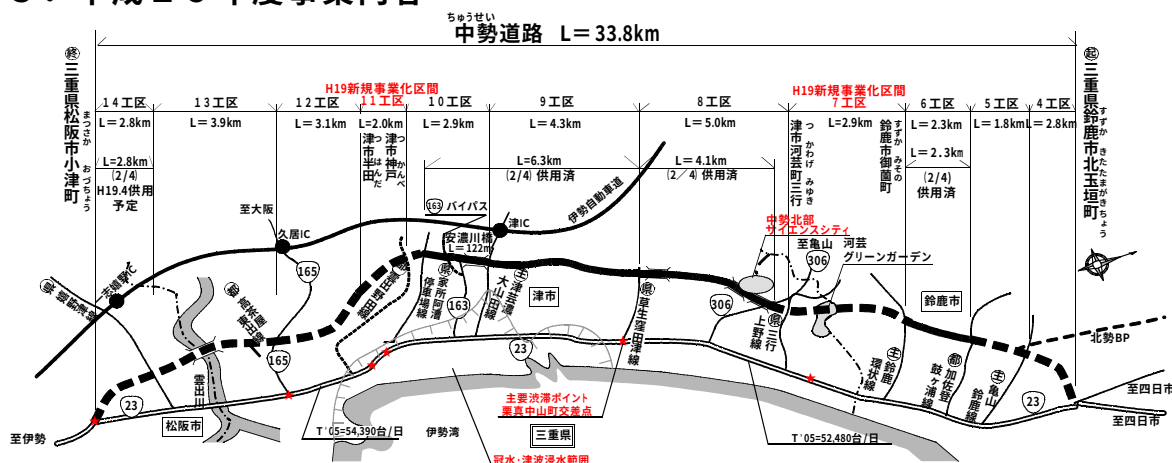
三重県鈴鹿市北玉垣町～三重県松阪市小津町

2. 事業概要

一般国道23号中勢道路は、現道23号の三重県鈴鹿市から三重県松阪市間の交通渋滞の緩和、交通安全の確保、「中勢北部サイエンスシティ」等の地域開発の支援、ならびに伊勢自動車道へのアクセスの確保を目的として計画された延長33.8kmの道路です。

平成19年度より鈴鹿市御園町から津市河芸町三行間（7工区：L=2.9km）及び津市神戸から津市半田間（11工区：L=2.0km）について直轄事業として新規に着手します。

3. 平成19年度事業内容



中勢道路の未事業化区間である7工区及び11工区を新規事業化し、中勢道路全線の早期供用に向け整備を推進します。

4. 整備効果

中勢道路の全線を整備することにより、現道23号の主要渋滞ポイントである栗真中山町交差点（最大渋滞長1.5km）外5交差点における交通渋滞の緩和、及び、現道23号の集中豪雨による冠水、津波浸水による通行不能区間の代替路線の確保を図ります。



中勢道路（終点付近）

新規事業箇所（直轄事業）

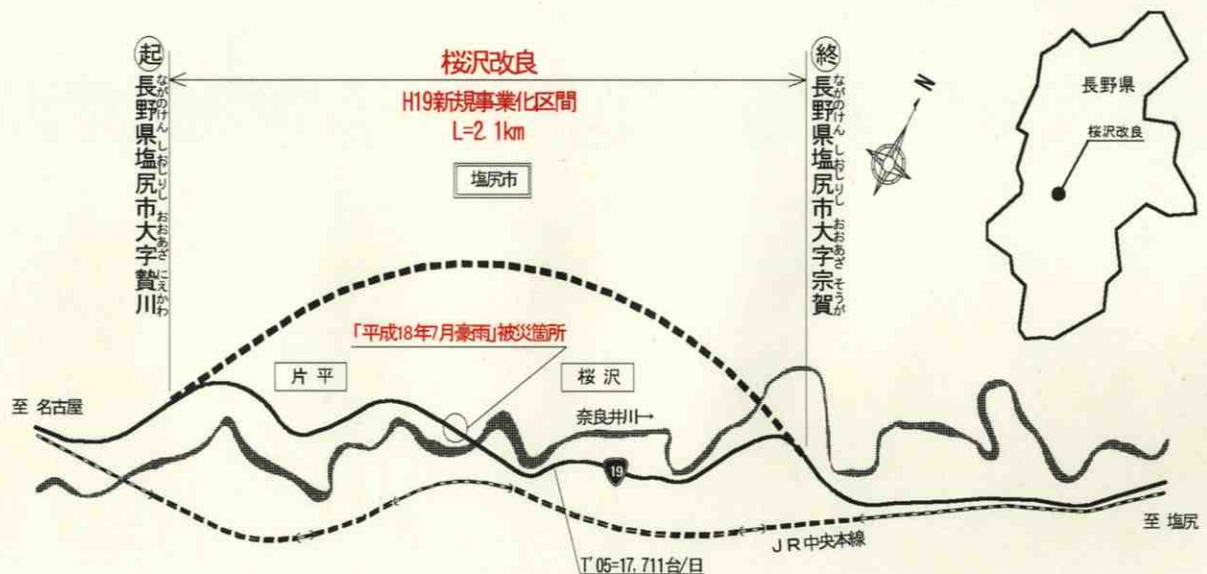
一般国道19号 桜沢改良 0.5億円

1. 事業箇所

長野県塩尻市大字贅川～長野県塩尻市大字宗賀

2. 事業概要

一般国道19号桜沢改良は、「平成18年7月豪雨」により被災した箇所を含む現道の防災対策及び交通安全対策等を目的とした長野県塩尻市大字贅川から長野県塩尻市大字宗賀に至る延長2.1kmの道路です。



3. 平成19年度事業内容

平成19年度に新たに事業に着手し、測量及び設計を行う予定です。

4. 整備効果

桜沢改良の整備により、線形不良区間 ($R=75\sim 100$ 、 $I=5.2\sim 5.9\%$) を解消し、交通安全の確保を図るとともに、災害時の迂回路の確保を図ります。



新規事業箇所（補助事業）

一般国道417号

岡島橋

1. 0億円

1. 事業箇所

岐阜県揖斐郡揖斐川町下岡島～同県同郡同町三輪

2. 事業概要

一般国道417号は岐阜県西濃地域と福井県丹南地域を結ぶ広域的な幹線路線であるとともに、大垣地域と揖斐地域を結ぶ最短路線です。岡島橋は、約70年が経過した老朽橋で、大型車のすれ違いが困難であるため、隘路の解消、歩行者の安全確保を目的として、延長192mの橋梁の架け替えと前後の取付道路（2車線）を整備するものです。

3. 平成19年度事業内容

詳細設計、用地等の測量や調査を行い、用地買収を推進します。

4. 整備効果

岡島橋の整備により、以下の効果が期待されます。

◆交通事故対策の推進・渋滞緩和

- ・揖斐川町内の事故多発箇所ワースト3となっている岡島橋左岸側交差点の事故減少が見込まれるとともに、橋詰めの大型車すれ違い待ちを解消し、交通の円滑化を図ります。
- ・中心市街地へのアクセス向上により、地域の活性化を図るとともに、第2次救急医療施設「揖斐厚生病院（第2次救急医療施設）」へのアクセス向上、学校への安全な交通確保により、高齢者等交通弱者に優しいまちづくりに貢献します。



新規事業箇所（補助事業）

かなやおまえざき 金谷御前崎連絡道路 一般国道473号 さがら 相良バイパス 5.0億円

1. 事業箇所

まきのほら ひがしはぎま おおさわ
静岡県牧之原市東萩間～同県同市大沢

2. 事業概要

かなやおまえざき 金谷御前崎連絡道路は、第二東名から一般国道1号、ふじさんしずおか 富士山静岡空港、東名とを結び、重要港湾おまえざき 御前崎港に至る延長約30kmの地域高規格道路として位置づけられています。

一般国道473号さがら 相良バイパスは、かなやおまえざき 金谷御前崎連絡道路の一部を構成し、並行する現道473号の国際コンテナ通行支障区間を解消するとともに、まきのほら 牧之原市街地の渋滞の解消を図り、物流拠点おまえざき 御前崎港、ふじさんしずおか 富士山静岡空港へのアクセス強化を目的とした、延長5.5kmの2車線道路です。

3. 平成19年度事業内容

詳細設計を推進し、改良工事に着手します。

4. 整備効果

さがら 相良バイパスの整備により、以下の効果が期待されます。

◆国際物流基幹ネットワークの構築

- ・当該事業区間の国際コンテナ通行支障区間の解消が図られるとともに、平成21年3月に開港予定のふじさんしずおか 富士山静岡空港とおまえざき 御前崎港とのアクセスが図られ、国際競争力の高い産業基盤づくりに貢献します。

（さがら 相良バイパスが開通すると東名とおまえざき 御前崎港とのアクセス時間が約6分短縮されます。）



新規事業箇所（補助事業）

一般国道419号 高浜立体 0.6億円

1. 事業箇所

愛知県高浜市芳川町～同県同市碧海町

2. 事業概要

一般国道419号は岐阜県瑞浪市を起点とし、愛知県高浜市に至る延長約53kmの幹線道路です。高浜立体は主要渋滞ポイントである「衣浦大橋東交差点」の渋滞緩和を目的とした、延長1.6km、4車線（暫定2車線）の立体化事業です。

3. 平成19年度事業内容

調査設計を推進します。

4. 整備効果

高浜立体の整備により、以下の効果が期待されます。

◆主要渋滞ポイント「衣浦大橋東交差点」の渋滞緩和

- ・当該事業区間は、自動車産業が集積する豊田市・刈谷市など西三河内陸工業地帯から重要港湾「衣浦港」へのアクセス道路です。立体化による渋滞緩和により国際競争力を強化し、産業基盤づくりへ貢献します。

（渋滞損失時間46.1万人時間／年kmで県内平均（4.9）の約9.4倍）



完成事業箇所（直轄事業）

一般国道42号 ^{くまのおわせ}熊野尾鷲道路 80.9億円

1. 事業箇所

三重県尾鷲市南浦～三重県熊野市大泊町

2. 事業概要

一般国道42号熊野尾鷲道路は、近畿自動車道紀勢線と一体となって三重県尾鷲・熊野地域へ高速交通サービスを提供し、また、現道42号の雨量規制区間を解消することを目的に計画された自動車専用道路です。



3. 平成19年度事業内容

尾鷲南IC(仮称)～三木里IC(仮称)間において、改良・舗装工事及び新八鬼山トンネルの設備工事を推進し、暫定供用します。また、三木里IC(仮称)から大泊IC(仮称)間について用地取得を推進するとともに、三木里IC(仮称)から新鹿IC(仮称)間において逢神曾根トンネルなどのトンネル・改良工事及び橋梁工事に着手します。



雨量通行規制の状況

4. 整備効果

平成19年度に尾鷲南IC(仮称)^{おわせみなみ}～三木里IC(仮称)^{みきさと}間(L=5.0km)が開通することにより、以下の効果が期待されます。

- ◆災害発生時の孤立化の解消
- ・大雨による事前通行規制時や災害発生時に孤立化する地域を一部解消します。
- ◆所要時間の短縮（病院）
- ・三木里地区から尾鷲総合病院までが約14分で到達可能となります。（13分短縮）



豪雨による現道の災害状況

完成事業箇所（直轄事業）

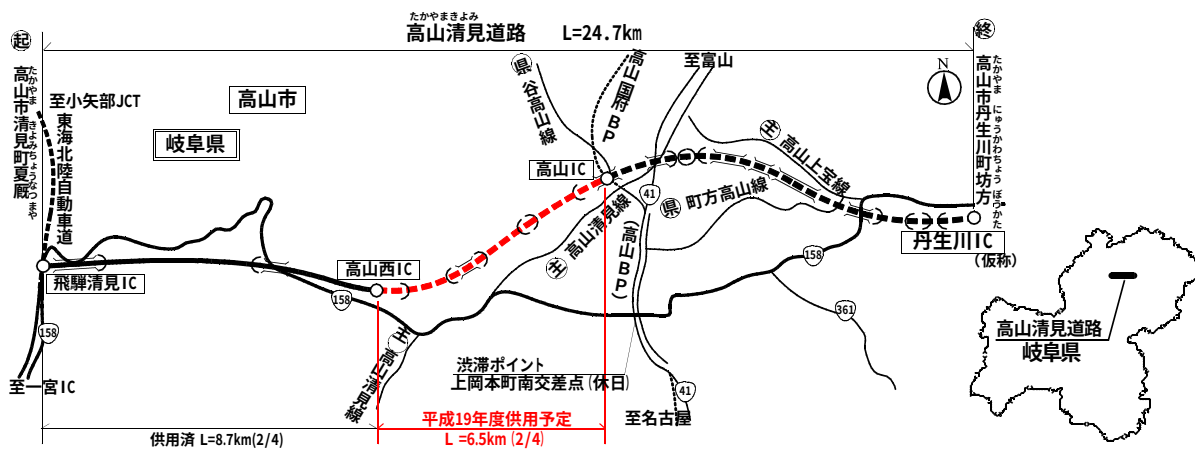
一般国道158号 ちゅうぶじゅうかん 中部縦貫自動車道 たかやまきよみ 高山清見道路 50.5億円

1. 事業箇所

岐阜県高山市清見町夏廐～高山市丹生川町坊方

2. 事業概要

一般国道158号高山清見道路は、高規格幹線道路「中部縦貫自動車道」の一部を構成し、岐阜県飛騨地方の中心都市である高山市と東海北陸自動車道を直結し、高速交通サービスの提供、高山市内の交通混雑の緩和、さらには地域発展の支援等を目的に計画された延長24.7kmの自動車専用道路です。



3. 平成19年度事業内容

平成19年度は、改良及び舗装工事を実施し、高山西IC～高山IC間の供用に向け整備を推進します。

4. 整備効果

高山清見道路の高山西IC～高山IC間（L=6.5km）の開通と平成19年度に予定される東海北陸自動車道の全線開通により、以下の効果が期待されます。

- ## ◆ネットワーク機能の強化（都市間の所要時間短縮）

- ・飛驒地域の高速アクセス30分圏域が拡大。

(人口割合で 45%→62%)

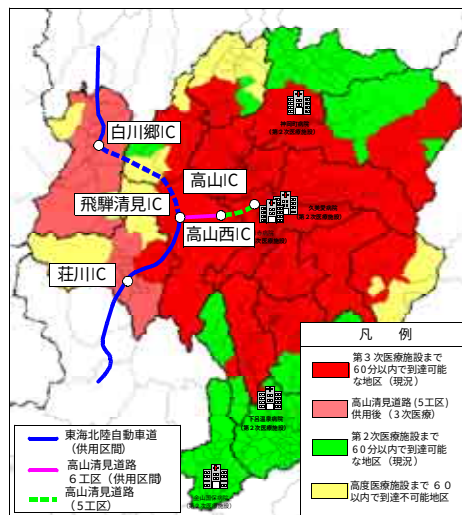
- ### ◆所要時間の短縮（高次医療サービス）

- ・白川村から第3次救急医療施設
(高山市)まで60分以内に到達が
可能。

- ## ◆渋滞の緩和

- ・高山市内の主要渋滞ポイントである
国道158号上岡本町南交差点等の渋
滞が緩和。

■第3次医療施設までの
60分以内到達可能範囲



完成事業箇所（直轄事業）

一般国道474号 三遠南信自動車道 飯橋道路 90.0億円

1. 事業箇所

長野県飯田市山本～長野県下伊那郡喬木村

2. 事業概要

一般国道474号飯橋道路は、高規格幹線道路「三遠南信自動車道」の一部を構成し、長野県南信地域への高速交通サービスの提供、主要観光地へのアクセス強化、一般国道256号の通行不能区間の解消等を目的に計画された延長22.1kmの自動車専用道路です。



3. 平成19年度事業内容

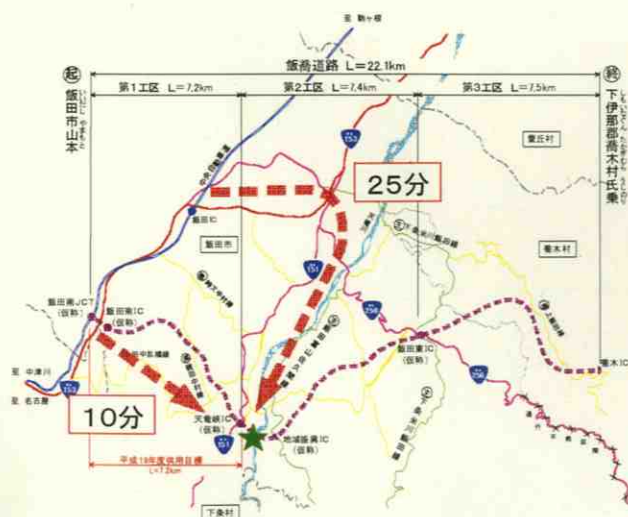
平成19年度は、飯田南JCT(仮)～天竜峡IC(仮)間の平成19年度供用に向け、整備推進を図ります。

4. 整備効果

平成19年度に飯田南JCT(仮)～天竜峡IC(仮)間(L=7.2km)が開通することにより、以下の効果が期待されます。

◆所要時間の短縮（地域振興）

- ・中央自動車道から南信地域の主要観光地である天竜峡までの所要時間が約15分短縮されます。



完成事業箇所（直轄事業）

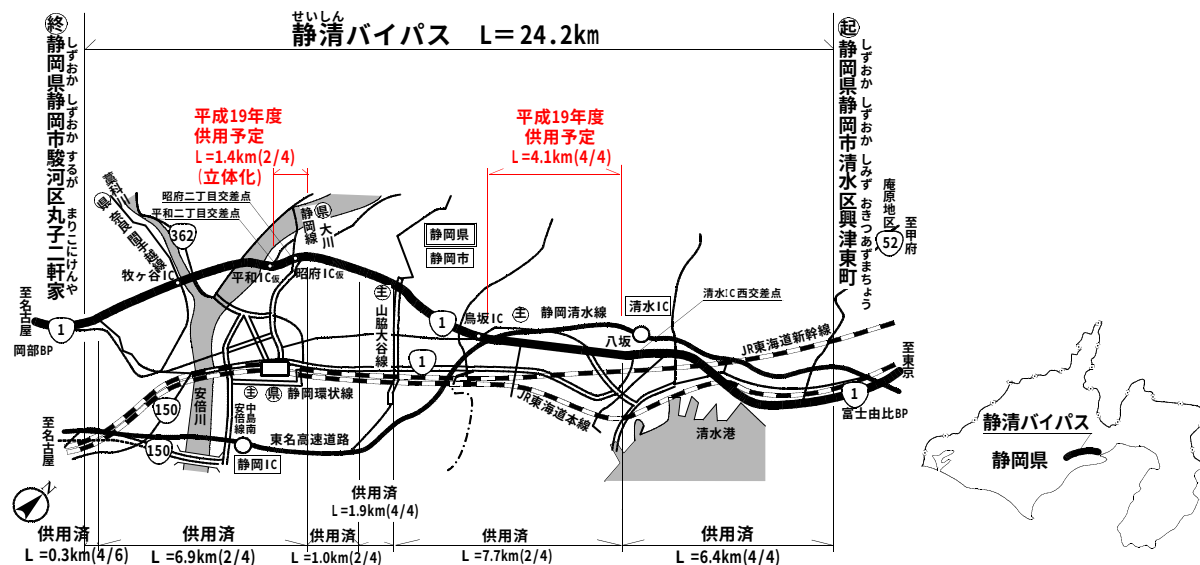
しずおかとうざい 静岡東西道路 一般国道1号 せいしん 静岡清バイパス 61.0億円

1. 事業箇所

しずおか しずおか しみず おきつあずまちょう しずおか しずおか するが まりにけんや
静岡県静岡市清水区興津東町～静岡県静岡市駿河区丸子二軒家

2. 事業概要

一般国道1号静岡清バイパスは、地域高規格道路「静岡東西道路」の一部を構成し、静岡市の環状道路の一部として、交通混雑の緩和、交通安全の確保、静岡都市圏の発展の支援等を目的に計画された延長24.2kmの道路です。



3. 平成19年度事業内容

平成19年度は、八坂～鳥坂IC間及び昭府IC(仮)～平和IC(仮)間の供用に向け整備推進を図ります。

4. 整備効果

平成19年度に八坂～鳥坂IC間(L=4.1km)の4車線化が完了することにより、以下の効果が期待されます。

◆所要時間の短縮（都市間）

- 庵原地区から静岡市街地まで30分以内で清水IC西交差点付近の渋滞状況アクセスできるようになります。（混雑時約10分間短縮）

◆渋滞の緩和

- 主要渋滞ポイントである清水IC西交差点の渋滞が緩和されます。

平成19年度に昭府IC(仮)～平和IC(仮)間(L=1.4km)の交差点立体化（暫定2／4車線立体化）が完成することにより、以下の効果が期待されます。

◆所要時間の短縮（都市間）

- 牧ヶ谷ICから昭府IC(仮)までの混雑時の所要時間が約9分短縮されます。

◆渋滞の緩和

- 主要渋滞ポイントである昭府二丁目交差点、平和二丁目交差点の渋滞が緩和されます。



へいわにちょうめ 平和二丁目交差点付近の渋滞状況

完成事業箇所（直轄事業）

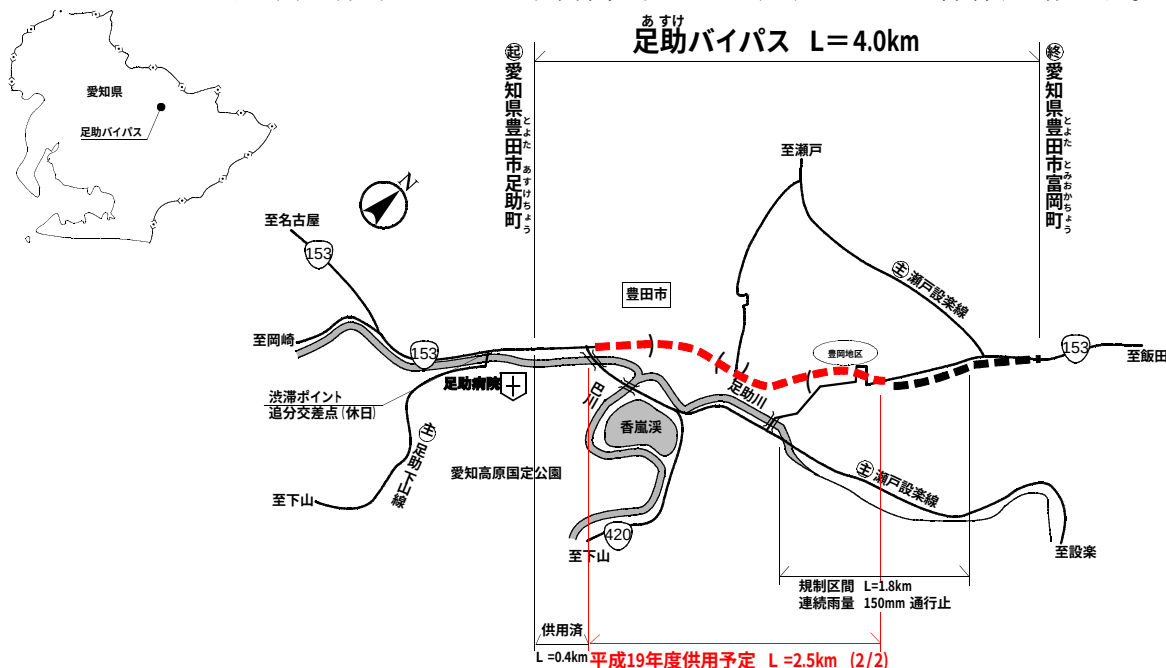
一般国道153号 足助バイパス 24.1億円

1. 事業箇所

愛知県豊田市足助町～豊田市富岡町

2. 事業概要

一般国道153号足助バイパスは、現道153号の狭隘かつ線形不良区間の回避、通行規制区間の解消、交通安全の確保、交通混雑の緩和を目的に計画された豊田市足助町から豊田市富岡町に至る延長4.0kmの幹線道路です。



3. 平成19年度事業内容

平成19年度は、豊田市足助町狭石～同市富岡町下切間の供用に向け整備を推進します。

4. 整備効果

平成19年度に豊田市足助町狭石～同市富岡町下切間(L=2.5km)が開通することにより、以下の効果が期待されます。

- ◆雨量規制区間の短縮により一部孤立集落が解消されます。
- ◆休日、混雑時での足助市街地通過時間が5分短縮されます。
- ◆足助市街地を通過する交通をバイパスへ転換することで、市街地の歩行者への危険を低減できます。
- ◆線形不良解消により安全性・快適性が高まります。



行楽シーズンの渋滞状況